

CWA NEWS



令和元年度千葉県友好使節団を派遣

当協会では去る10月16日（水）から24日（木）にかけ、令和元年度千葉県友好使節団をウィスコンシン州へ派遣しました。今回の使節団は、文化・芸術グループ（市川市の「南行徳 花組」）6名、酪農グループ3名、サイクルツーリズムグループ3名及び事務局4名の計16名で構成されています。

一行は9月12日（木）に森田健作知事（当協会特別顧問）を表敬訪問しました。



森田知事との記念撮影(前列左から3人目が森山団長、後列右端が佐藤常務理事)

最初に、当協会の佐藤忠信常務理事が団員を紹介した後、使節団を代表して森山茂男団長が「千葉ウィスコンシン協会が設立されてから今回で7回目の派遣となります。来年は、千葉県とウィスコンシン州との姉妹提携が30周年という記念すべき年になりますので、さらなる交流が図られるよう、活動してまいります」と決意を述べました。

森田知事はこれに応じて「今ウィスコンシン州のエバーズ知事と面談してきたのですが、非常にすばらしい人です。姉妹交流が30年続いているということは、まさしく草の根レベルで皆さん方県民がウィスコンシン州との交流・友情を深めようという気持ちを積み上げてきた結果です」と団員にエールを送りました。

表敬訪問には、市川市国際交流協会の関係者も同席しました。

使節団は9日間の日程を終え無事帰国しました。交流の内容は次号でお知らせします。

後日、今回の台風・大雨被害に対し、州知事やウィスコンシン千葉委員会からお見舞いの手紙（メール）をいただきました。



10月24日(木)、無事に成田空港に到着

協会役員がウィスコンシン州知事と面談

本年1月、第46代のウィスコンシン州知事に就任したトニー・エバーズ知事は、知事としての初めての外遊先として日本を選び、9月8日（日）～10日（火）に都内で開催された「第51回日本・米国中西部会 日米合同会議」に参加するため、州内企業9社及びウィスコンシン大学関係者等からなるミッションを引き連れ来日しました。

エバーズ知事は、12日（木）、キャシー夫人以下州政府関係者8名とともに千葉県庁を訪問し、森田健作知事を表敬訪問するとともに、当協会役員と面談しました。

協会からは、大澤克之助副会長（千葉日報社代表取締役社長）、佐藤忠信常務理事、田邊政裕理事（千葉県立保健医療大学学長）、徳久剛史理事（千葉大学学長）、佐藤拓監事（ジェトロ千葉貿易情報センター所長）が参加し、青木靖子事務局長が司会を務めました。

大澤副会長は、「千葉県がウィスコンシン州との姉妹提携をしてから来年で30周年になる。県政担当の現場記者だった姉妹提携当時、ウィスコンシン州から若い『酪農の女王』が知事を訪問した際に、記者会見取材したことを覚えている。自分も関わった姉妹交流が30年の時をかけて、しっかり根付いてきていることをうれしく思う」と述べました。

エバーズ知事は、当協会について、「ウィスコンシン州と千葉県という大切な関係をさらに強化するという非常に重要な役割を担っている」とした上で、この良好な関係は、「千葉県とウィスコンシン州だけの関係だけでなく、日米両国の関係だ」と高く評価しました。また、10月に訪問する千葉県友好使節団を「あたたかく受け入れたい」と歓迎する意向を示しました。

その後、同席した役員から一言ずつあいさつがあった後、森山団長から協会の活動について紹介がありました。

そこで、今回派遣される使節団員が面談の場に入室し、森山団長からグループごとに団員が紹介されました。

続いて、大澤副会長からエバーズ知事に記念品が贈呈され、最後に記念写真を撮影して終了しました。

後日談ですが、使節団がウィスコンシン州知事公邸を訪問した際、様々な美術品が展示されている棚の中央にその記念品が展示されていて、とても感動したとの報告がありました。



大浦京子運営委員が作った「裂画」を州知事に贈呈



友好使節団員も交えて記念写真

新任ALT歓迎会2019～ようこそ千葉へ！～

9月16日の祝日に新任ALT歓迎会が開催されました。秋晴れに恵まれた当日は、ウィスコンシン州出身のALT（*4ページ参照）やCWA会員など27人が千葉市生涯学習センターの食文化研修室に集まり大盛況。今回は、房総太巻き祭り寿司の体験と新任ALTの皆さんによる自己紹介、千葉県スポーツコンシェルジュによるお話に加えて交流会もという盛りだくさんのプログラムです。

太巻き祭り寿司体験は、指導者として千葉伝統郷土料理研究会に所属する杉崎幸子会長・山形礼子副会長・峯岸喜子会員・三橋早苗会員（運営委員）の4人が9時に到着し、薄焼き卵を焼き、すし飯や海苔・模様となる具を小分け、見本となる太巻き祭り寿司を作るなど、作業を分担して準備を開始。最強ともいえる指導者メンバーの連携プレーで準備も整い、予定通り11時に体験がスタートしました。4人から指導を受けた体験者は、1時間足らずで上手に太巻き祭り寿司を仕上げ、とても満足げな表情でした。



太巻き寿司づくりに取り組む真剣な眼差し



お手本の太巻き寿司



話しも弾むランチタイム



楽しかった大久保さんの話



参加者全員笑顔で記念撮影

ランチタイムには、体験者と指導者が作った見事なデザインの太巻き祭り寿司がテーブルに並び、スープと果物で楽しい会食が始まりました。そして、会食が一段落したところでソフィア・シルバさん（東葛飾中学校ALT）、ベン・アーデンさん（匝瑳高校ALT）、ナンシー・ローズさん（香取市CIR）、アマンダ・マクドナルドさん（君津高校ALT）がウィスコンシン州の地図を指しながら故郷の紹介、仕事への思いなどを盛り込んだスピーチを行いました。中には、台風15号（9月9日上陸）の被災地域から来たALTもあり、ライフラインがストップし混乱した現地の状況をお聴きすることができました。

13時から、千葉県スポーツコンシェルジュとして活躍中の大久保利宏さんによるお話です。大久保さんは、ウィスコンシン州と千葉県の類似点やご自身が教育者であった当時の交流経験に加え、現在はサイクル・ツーリズムを通じたウィスコンシン州との交流に取り組んでいることなどを英語で紹介。ユーモアあふれるスピーチに、参加者は熱心に聴き入っていました。

新任ALTを迎えての歓迎会は、毎年楽しみに参加して下さる方々も多く、行事として定着しつつあります。今年も皆さんの笑顔に包まれ、Good Job！

ウィスコンシン州出身のALTを紹介します！

県内の学校には多くのウィスコンシン州出身のALTが活躍しています。

ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、外国語を母国語とする外国語指導助手をいいます。

現在県内の小・中・高等学校には、英語の発音や国際理解教育の向上のため多くのALTが配置されています。そのうちウィスコンシン州出身のALTを紹介します。



顔写真左から

Sophia Silva 県立東葛飾中学校
Natalie Stoeckel いすみ市立岬中、太東小、古沢小学校

後列左から

Clara Faile いすみ市立岬中、長者小、中根小、大原小学校
Rose Yeazel 県立成田国際高等学校
Lewis Hurd 県立松戸国際高等学校
Amanda MacDonald 県立君津高等学校
Ben Alden 県立匝瑳高等学校
Gio Nava Garcia 匝瑳市立八日市場第一中学校
Max Gumble 県立土気高等学校、千城台高等学校
Matt Vosters 県立松尾高等学校

Jamison Taube 県立東金高等学校
Grant Smith 大網白里市立大網中学校
Jon Kangas 県立佐倉高等学校
Lucas Young 県立千葉東高等学校

中列左から

Jesse Chang 県立流山おおたかの森高等学校
Paula Green 県立流山おおたかの森高等学校
Callie Leone 鎌ヶ谷市立第三中学校
Tina Brown 県立松戸国際高等学校
Shelli Rodgers 県立柏井高等学校

前列左から

Josephine Kirkland 旭市立第二中、干潟小、共和小学校
Patrick Grimes 県教育委員会ALTプログラムコーディネーター
Evelyn Ewald 県立安房高等学校、長狹高等学校
Andrea Ewald 県立松戸国際高等学校
Joseph Simurdiak 一宮町立一宮中学校、一宮小学校、東浪見小学校

<Patrick Grimesさんからのメッセージ>

千葉県教育委員会のALTプログラムコーディネーターとして、2年目になりました。そして今年度より、CWAの運営委員会広報部会員としても活動しています。上記の写真をご覧くださいと、お蔭さまで例年よりウィスコンシン出身のALTが増えていることをご確認いただけたと思います。もちろん、近年アメリカでは日本への関心が高まっていますが、ウィスコンシン州では「千葉県に行ってみたい、住んでみたい」という考えが広がっているようです。その理由は、CWAをはじめ、WCI（ウィスコンシン千葉委員会）、県教育委員会のウィスコンシンALTプログラム（*）のお蔭で、千葉県の評判がとても良くなっているからです。結果として、多数のウィスコンシン青年が来日し、千葉県における外国語教育に多大な貢献をしたいと活動をしています。そういった人材のコーディネーターとして勤務することができ、とても誇りに思います。

本年9月12日に、ウィスコンシン州のトニー・エバース知事が来県されました。私は、澤川教育長とともに千葉県におけるウィスコンシンALTプログラムを紹介し、アピールすることができました。また、CWAの通訳者としての役割も果たすことができました。台風15号の影響で千葉県の各地域はまだ大変な状況でしたが、とても良い意見交換・交流になったと思っています。エバース知事は、姉妹県州関係をより強固なものにしたい、そしてウィスコンシンでもALTプログラムのような日本語プログラムを作りたいと言ってくださいました。

ALTプログラムコーディネーター、広報部会員、そして州知事との面談という経験を通して、とても良い1年になりました。いつまで千葉県にいるかは未定ですが、千葉県にいる間、そしてウィスコンシン州に帰ってからも、これまでの恩返しをするため、できるだけCWAと協力しながら、姉妹県州関係をより強固なものにしたいと思っています。

*千葉県では、平成3年度からウィスコンシン州教育委員会の協力を得て、ウィスコンシン州の若者を県立高等学校の語学指導助手（ALT）や教育委員会のALTプログラムコーディネーターとして採用し、英語教育の充実と地域の国際交流の推進を図っています。

【編集後記】

今年の9月から10月にかけて千葉県などを襲った台風や大雨は、県内各地においてこれまで経験したことのない多くの被害をもたらしました。未だ復旧されていない所も多いと伺っていますが、災害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

そして、一日も早い復旧を心よりお祈りいたします。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階
(公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)